石部南学区
まちづくり協議会広報

平成２５年９月１５日発行

第２６号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会　湖南市石部南 3-5-1　石部南まちづくりセンター内　電話　0748-69-7068

平成２５年度　第４回防災訓練が開催されました

８月１０～１１日(土・日)、連日の猛暑の中、石部南まちづくりセンター・運動場において、湖南中央消防署、湖南市消防団第５分団、その他多くの方々の協力により、第４回防災訓練を開催しました。第１部では、１３時３０分にサイレン吹鳴で、避難訓練が開始され、一時避難所に集合した後、開催会場である石部南まちづくりセンターに集合しました。開会式に引き続き、湖南中央消防署石部分署による通報訓練・応急手当の仕方を指導して頂き、その後各班に分かれて救護訓練、消火訓練、消火栓操作及び放水訓練を行いました。第２部での炊き出し訓練は、小学生も参画し“かまどベンチ”で「カレー」を作りました。夜は、市の危機管理課よりの防災研修で災害時の対応を学び、住民有志より寄贈頂いた「スイカ」を食べ、宿泊の体験をしました。

◆１部　13：30～17：00

避難訓練

開会式　挨拶
大島会長

湖南中央消防署
田中署長補佐

消防団第５分団
山本分団長

来賓のみなさん

通報訓練
勝山署員

応急手当の仕方
谷口分署長

消防団第５分団のみなさん

訓練の様子

救護訓練

消火訓練

消火栓操作訓練

消火栓より放水訓練

放水実演

放水開始

閉会式

北村学区長

◆２部　17：30～翌朝８：00

炊出し訓練　～　防災研修　～　宿泊体験

かまどベンチで炊出し訓練

カレーの出来上がり

おいしいカレーに舌鼓

災害時の行動を学びました

講師は湖南市の青木次長

学習の後はおいしい西瓜

宿泊体験「ちょっと心配！」

みなさん大変暑い中、熱心に訓練・体験され、無事に終了することができました。おつかれさまでした。湖南中央消防署及び消防団第５分団のみなさんありがとうございました。また、防災研修（学習）には、行政危機管理課より災害時の対応について熱心にご指導いただき、感謝申しあげます。

きらめき湖南　ハートフルベンチ

平成２５年度、地域活性化推進事業「**きらめき湖南**」は昨年に続き、**“ハートフルベンチ”**製作に取り組んでいます。

◆設置場所

①雨山文化公園　②阿星保育園　③石部南幼稚園　④近江学園　⑤阿星屋外ステージ

基礎作り

生コン流し

レンガ積み

部 会 活 動 紹 介

環境部会

◆花苗植え替え

環境部会は、７月１４日（日）夏花の植替えを実施しました。
「美しいまちを作ろう！！」がスローガンです。５区集会所に植替え完了です。

◆ゴミ拾いウォーク

６月３０日（日）に石部南学区内道路のゴミ拾いウォークを実施しました。
回収したゴミは、分別し≪分ければ資源・混ぜればゴミ≫、リサイクル業者に提供しました。

◆地産地消

地元野菜・加工品を各区の「夏祭り」に出店しました。新鮮で安心、安価な農産物に住民の皆さんから大変喜んでいただきました。

【石部南夏祭り】7 月 27 日（土）　【宝来坂夏祭り】8 月 18 日（日）　【宮の森夏祭】8 月 24 日（土）

生涯学習部会

◆いもち送り用「松明作り」

歴史ある「西寺地区いもち送り」の巡行用「松明」を生涯学習部会として作りました。西寺の農事者の方々より指導を受け「立派なタイマツ」が出来上がりました。30 本製作しました。

広報部会

◆缶バッジ製作機　購入

広報部会では、缶バッジ製作機を購入しました。オリジナル缶バッジを作成し、各行事を支援します。各団体からの製作依頼も受け付けます。詳細はおたずね下さい。

直径 57mm

まち協マーク

防災訓練
宿泊体験参加賞

平成 25 年度

「ふれあい祭り・フェスタ」開催　10 月 27 日（日）

場所：石部南まちづくりセンター　作品の募集受付中

各自治会トピックス

宝来坂区　夏祭り

８月１８日（日）十禅寺公園に於いて自治会主催の夏祭りが盛大に開催されました。大勢の来場で、楽しい一時を過ごしました。

石部南区　夏祭り

７月２７日（土）まちづくりセンター前「ふれあい広場」で自治会主催の夏祭りを開催しました。1000 名余の来場者があり、大盛況で喜んでいただきました。

宮の森区　夏祭り

８月２４日（土）　夏まつりを開催。朝の樽みこしの町内巡行、午後からの地蔵盆夕方からの模擬店開店、大勢の参加者で、楽しい時間を過ごすことができました。

西寺・丸山区　西寺いもち送り（NHK 近江写真館放映）

７月１７日　18:30 三聖神社　祈祷　-　45 名参加

約３００年前からの伝統行事で、松明（たいまつ）を燃やして田んぼ道を行列し、虫を誘いこんで殺しながら村のはずれの地点まで送り出してしまおうという、信仰的な行事です。

福祉施設紹介

社会福祉法人　八起会（はちきかい）

平成８年、丸山の地において石部ケアハウス開設からスタートし、高齢者介護サービスの総合化を目指して、在宅系サービス（デイサービス、ショートステイなど）や施設系サービス（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設）等を運営しています。現在では、丸山のほか石部西、宮の森、東近江市永源寺、栗東市御園においても事業を展開しています。また、来る平成２６年には甲賀市水口町、栗東市御園においても新規事業展開を計画しており、より一層、サービスの充実を通して地域福祉及び情報発信の拠点となると共に、社会の福祉に貢献することを目指しています。

丸山施設群全景

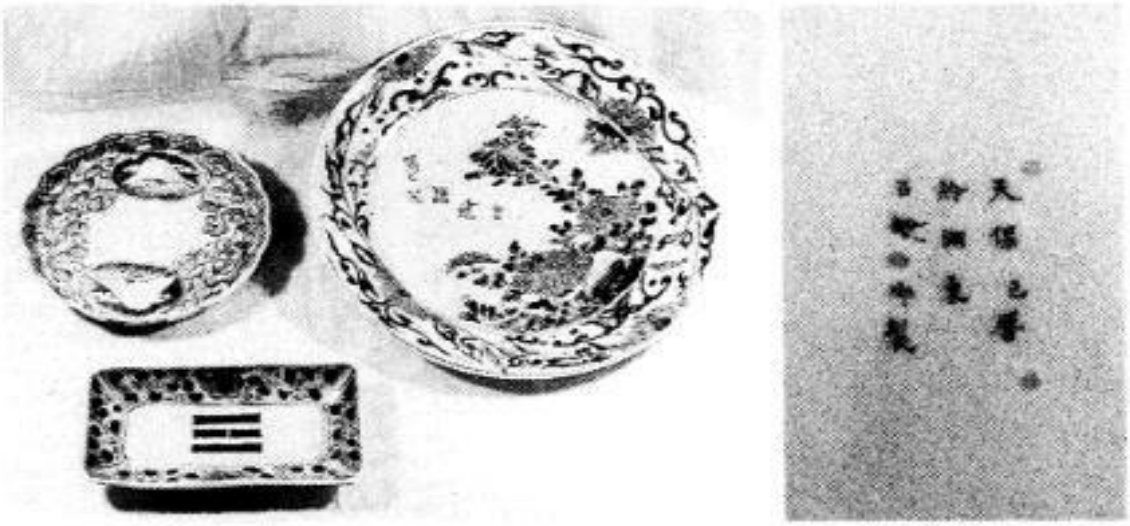
施設の入口に「故郷」の歌碑が立っています。この歌碑のとおりここを第２の「ふるさと」として、住み慣れた我が家を創り、生き甲斐を共にする友達を創り、安心して生活できる地域社会『しあわせの村』を創造しています。

連載　歴史の小径

第１５回　　出典　新修石部町史より

石 部 焼

石部小学校の南方丘陵地（字十禅寺）に窯跡があった。　この地はかって石部焼と呼ばれる陶器が製造されていたので俗に茶碗山とも称した。石部焼は、文政年中石部宿の福島治郎兵衛・植村仁左衛門・藤谷右衛門らが十禅寺の高地に数基の窯と作業場を建て、陶器の製造に着手したのに始まる。陶器に光沢を出す釉薬は京都から仕入れたが、原料となる陶土はこの地から産出するものを用いた。『近江輿地志略』に「石部土、石部山よりこれを出す」とある。職人は京都清水から陶工清二を招いた。　製品は茶碗・徳利・鉢など日常品、さらに水指・筆架・猪口・床置と種類もふえ、模様染付も精巧なものになっていった。これらの陶器には「湖東石南山」や陶工のなである「清一」の命のあるものもあり、また中には「天保丙申（七年）十二月茶碗山」の銘のあるものもある　天保五年（1834）には、石部焼仕法方福島次郎兵衛・藤谷次右衛門・服部才之助らが膳所藩から金 40 両を年利四朱で手当として拝借し、窯ごとに窯元が焼物で返納することの証文を差し出している。　しかし、経営は不振がちであったようで、「其後何んとなく中絶に相成」り、嘉永四年（1851）三月石部宿北村又三郎が再興し、将来は国益にも資するようにと願い出ている（『膳所領郡方日記』）。



石部焼　　京都清水より陶工を招いて作られた石部焼は染付模様が精巧である。皿の裏面には「天保巳暦於湖東石部郷製」といった銘をもつものもある（竹内善一郎氏所蔵）。

石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス
http://www.ishibe-minami.net/
メールアドレスは　info@ishibe-minami.net